

2022年度における事業の概況

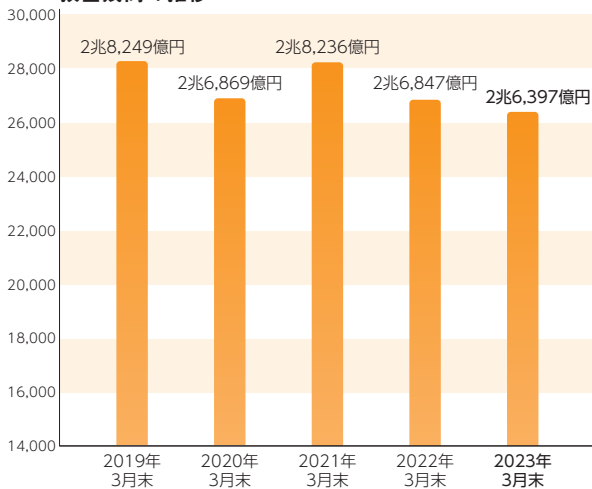
経営環境

2022年度は、約3年に亘るコロナ禍だけでなく、世界情勢の混乱や急速に進んだ円安の影響から、原材料や仕入・エネルギー価格などあらゆる物価が高騰し、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい情勢が続きました。

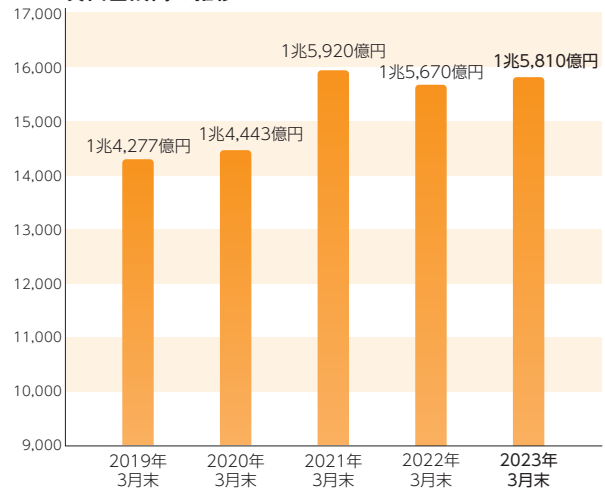
しかし、年度後半は感染拡大は徐々に終息に向かい、行動制限の緩和からインバウンド需要も回復しつつあるなど、ようやく経済の先行きに薄明かりが見え始めました。

業績

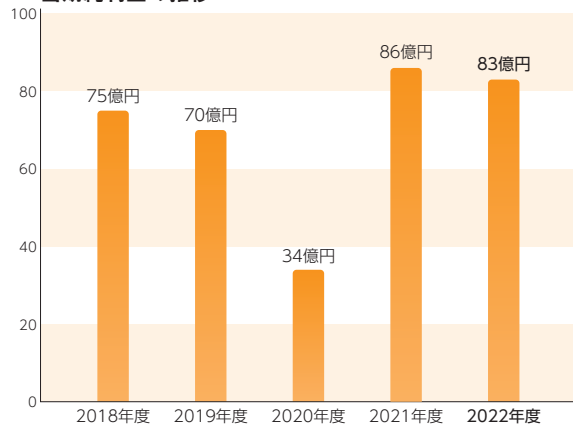
預金残高の推移



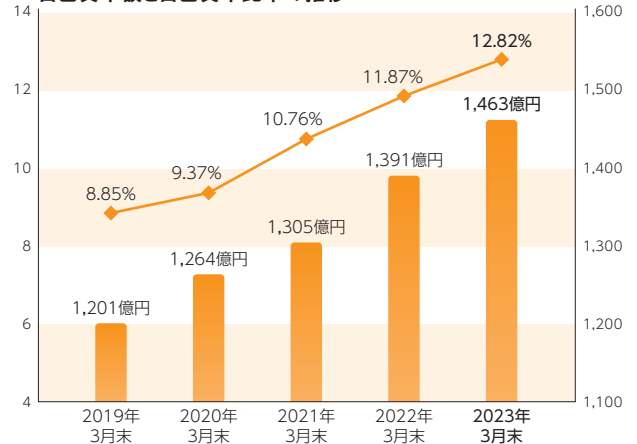
貸出金残高の推移



当期純利益の推移



自己資本額と自己資本比率の推移



厳しい経営環境が続きましたが、当金庫はDXに向けた取り組みを一気に加速させ、新しい事業主支援ツール「だいしんネットAKINAI」を開設しました。また、新しいインキュベーション型シェアオフィス「夢はなて」、「YUMEARATA」を開設し、大阪の創業・第二創業者を支援する体制を充実させ、伴走支援に積極的に取り組んでいます。

対処すべき課題

2023年度は、経営計画に新たに3つの「S」(Speedup, Share, Shippai)と3つの「共」(共創、共助、共感)を掲げました。役職員がこの3つの「S」と「共」を意識し、同じ認識を持って、金庫が目指す姿である「みんなにとって愛着のある信用金庫となり、その期待に応えていく」に向け行動します。